



住宅の敷地は税金が 軽減されています

土地の固定資産税・都市計画税

住宅やアパートなどの敷地として利用している土地は、特例措置が適用となり、税金が軽減されています。

土地や家屋の利用状況に変更があったときは連絡してください。

問い合わせ 資産税課（市庁舎2階） ☎65・4122

固定資産税・都市計画税は、評価額を基に算定する課税標準額に、一定の条件を満たす土地については対象となる場合があります。

住宅用地とは

住宅用地に対する課税標準の特例

毎年1月1日の賦課期日において、既に住宅やアパートなどが建っている敷地は、土地にかかる課税標準額が低く算定され、税額が軽減されています。

このため、住宅などを建築中、あるいは建設予定の土地は対象になりません。ただし、既存の対象

住宅用地の種類

住宅用地は面積に応じて、小規模住宅用地と認定されます。

例)敷地面積300平方メートルの1戸建て住宅の場合
200平方メートル分は小規模住宅用地となり、残り100平方メートル分は一般住宅用地となります。

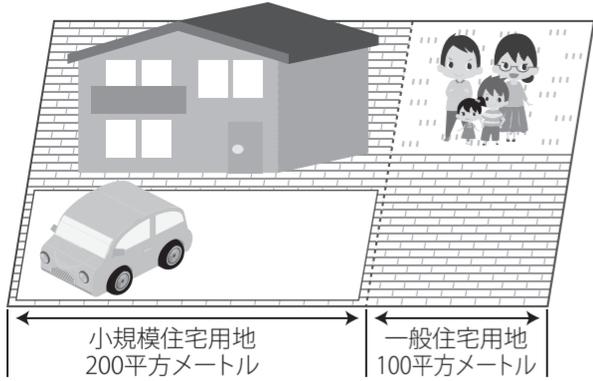


表1 住宅用地に対する課税標準額の特例と税率

住宅用地の区分	固定資産税	都市計画税
小規模住宅用地 〔住宅1戸当たり 200平方メートルまで〕	課税標準額 評価額の6分の1	課税標準額 評価額の3分の1
一般住宅用地 〔住宅1戸当たり200平方 メートルを超える部分〕	課税標準額 評価額の3分の1	課税標準額 評価額の3分の2
	税率 1.4%	税率 0.3%

表2 固定資産税・都市計画税相当額の計算例
(上図を例に評価額を360万円と仮定した場合)

評価額	固定資産税	都市計画税
小規模住宅用地分 200平方メートル =240万円	課税標準額 240万円×1/6 =40万円…A	課税標準額 240万円×1/3 =80万円…B
一般住宅用地分 100平方メートル =120万円	課税標準額 120万円×1/3 =40万円…C	課税標準額 120万円×2/3 =80万円…D
合計 360万円	税率 (A+C)×1.4% =1万1200円	税率 (B+D)×0.3% =4800円

模住宅用地と一般住宅用地に分けて特例措置が適用されます(表1・2)。住宅用地の面積の上限は住宅の床面積の10倍までです。

住宅用地に認定されない事例

住宅に隣接しているも、塀やフェンスなどで仕切られ、住宅と直接行き来できない土地は住宅用地として認定されません。また、店舗や工場、貸駐車場など、人の居住に利用されていない土地や空き地なども、認定されません。

この他にも、もともと人が居住していた家屋を店舗や事務所など住宅以外に利用している場合も、住宅用地には該当しません。家屋の利用状況が変わった場合は、資産税課へ連絡してください。

なお、現地調査などで住宅以外に使われていると思われる家屋を把握した場合、所有者に利用状況を確認することがあります。

市長コラム

夢かなうまち おびひろ

つながる

帯広市長 米沢 則寿



などが普及し、私たちの暮らしはとて便利になりました。これまでは知り合う機会のなかった人や、世界各国の人たちとも、時間や空間を越えてコミュニケーションが可能となるなど、人と人がつながる機会が増えていきます。

しかしながら、こうしたコミュニケーションは、人と人が直接顔を向き合わせながら行うものとは大きく異なります。また、インターネットや大型店などでは、お店の人と一言も会話を交わさなくても、買い物ができる時代です。

最近、出勤時に、近所に住む小学2年生の女の子と顔を合わせます。「おはようございます」。最初は、伏し目がちで小さな声でしたが、今では、私の目を見て、大きな声で元気にあいさつを返してくれます。心が通じ合えたように感じ、うれしくて、これまでよりも少し早く自宅を出て、毎朝の小さなつながりを楽しんでいます。

今の時代、生き方を自由に選ぶことは素晴らしいことですが、一方で、人々の生き方や人生観が多様化し、身近な人でさえ分かり合えない場合もあります。また、面と向かって話をする機会が減り、人とのつながりが希薄になることで、人間関係で苦勞したり、時として孤独を感じることもあります。

しかし、そんな時代だからこそ、大切な誰かと心と心がつながる時間が必要なのではないのでしょうか。お盆休みが終わり、故郷を後にするとき、自分とつながっている大切な人たちとの有意義な時間や思い出を振り返りながら、「また明日から頑張ろう」という前向きな気持ちになつていただけたらいいなと思つています。

8月に入るとお盆を迎えます。お盆の時期は、地域によって異なりますが、全国の多くの地域では、8月13日から16日までとしているようです。お盆休みには、故郷に帰ってくるお子さんやお孫さんの元気な姿を心待ちにしている方、あるいは、故郷の友人たちと集い、にぎやかなひとときを楽しみむ方など、さまざまなお盆を過ごされることと思います。

日本古来の伝統的な風習であるお盆は、家族や親戚が集まり、先祖の霊を迎え、今の自分があるのは、先祖のおかげであると感謝し、供養を行う行事といわれています。かつて、自分を大切に思ってくれていた人や、友人との懐かしい昔の思い出に会いに帰るお盆。それは、これまでの自分を振り返りながら、これからの自分を見つめ直す時間なのかもしれません。近年、インターネットやスマホ